

題材名「わたしたちの地域と食文化」（ 8時間扱い）

1 題材を通して育成する資質・能力

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
<p>○地域の食文化について理解し、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。</p> <p>○食事を共にすることが人間関係を深めたり、行事食や郷土料理など、食事が文化を伝える役割もあることを理解している。</p> <p>○日常の食生活の在り方が環境に与える役割についても気付いている。</p>	<p>○日常の 1 食分に調理における食品の選択や調理の仕方、調理計画について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察した事を論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p>	<p>○家族や地域の人々と協働し、より良い生活の実現に向けて、日常食の調理と地域の食文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>

2 資質・能力を育成する題材の授業設計

```
graph LR; A[生活の課題発見] --> B[解決方法の検討と計画]; B --> C[解決に向けた実践活動]; C --> D[実践活動の評価・改善];
```

学習過程

課題学習

題材を通した学習課題 : 和食文化を食生活に取り入れるためにはどうすればよいのか

「見方・考え方」を踏まえた本時の目標	【第1時】 現代の食生活が及ぼす食文化についての問題を見だし、課題を設定する。	【第2時】 だしの種類や料理に適しただしの取り方について理解するとともに、和食のよさについて考えることができる。	【第3時】 地域の食材のよさに気付くとともに、地域の食材の取り入れ方について考え、工夫することができる。	【第4時】 和食のよさについて理解するとともに、一食分の和食の献立について考え、工夫することができる。	【第5時】 地域の食材や和食のよさについて理解するとともに、和食の調理について考え、工夫することができる。	【第6時】 地域の食材を用いた和食の調理の仕方について理解し、適切にできる。	【第7時】 和食の取り入れ方についての考えを説明することができるとともに、食文化の視点から食生活を改善しようとする。	【第8時】 自分の食生活をよりよくしようと創造し、実践しようとしている。
	和食文化に着目して、様々な食品による豊かな食生活と、食料自給率、フードマイルージの環境問題を比較・関連付けて考えることを通して、	だしに着目して、様々なだしや料理に適しただしの取り方を調べることを通して、	地域の食材に着目して、地域の食材を調べ、遠方の同一食材と比較することを通して、	だしを用いた地域の食材の取り入れ方に着目して、 1食分の和食の献立を立てることを通して、	和食献立に着目して、効率のよい調理計画を作成することを通して、	和食のよさに着目して、和食の調理をすることを通して、	和食文化の継承に着目して、レシピカードを作成し、他の生徒のレシピカードを評価し、和食の取り入れ方の工夫をまとめて発表することを通して、	よりよい食生活に着目して、自分の食生活と今後の食生活を比較したり、これまでの学びを振り返ったりすることを通して、

<div> <div>目標を達成した</div> <div>子供の姿</div> </div>	○【思・判・表①】 食文化について問題を見いだして課題を設定している。	○【知・能①】 だしの種類や料理に適しただしの取り方について理解している。 ○【思・判・表②】 だしを用いた調理について考え、工夫している。	○【思・判・表③】 地域の食材のよさに気づき、食材の取り入れ方について考え、工夫している。	○【知・能②】 和食のよさについて理解している。 ○【思・判・表④】 一食分の和食の献立について考え、工夫している。 ○【態度①】 食文化に関わる問題についての課題の解決のために取り組もうとしている。	○【知・能③】 地域の食材や和食のよさについて理解している。 ○【思・判・表⑤】 効率のよい調理計画について考え、自己の分担について工夫している。	○【知・能④】 地域の食材を用いた和食の調理の仕方について理解して、適切にできている。	○【思・判・表⑤】 和食の取り入れ方についての課題解決に向けた一連の活動について考察したことを論理的に表現している。 ○【態度②】 よりよい食生活の実現に向けて地域の食材や和食について課題経穴に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。	○【思・判・表⑥】 健康で安全な食生活を送るための課題解決に向けた一連の活動について考察したことを論理的に表現している。 ○【態度③】 よりよい食生活の実現に向けて、食事の役割や中学生に必要な栄養素を満たす食事、和食の取り入れ方について工夫し創造し実践しようとしている。
---	--	---	--	---	--	--	---	--

「主体的・対話的で深い学び」の視点(真)への学習活動

- ◆【主体的な学びの視点】
⇒ 問題意識をもつ
自己の課題をもつ
- ◆【対話的な学びの視点】
⇒ 新たな気づきを
生み出す
- ◆【主体的な学びの視点】
⇒ よりよい考えを
見いだす
- ◆【主体的な学びの視点】
⇒ 解決の方法や手順
を計画する
- ◆【対話的な学びの視点】
⇒ よりよい考えを
見いだす
- ◆【主体的な学びの視点】
⇒ 粘り強く取り組む
- ◆【深い学びの視点】
⇒ 考えを再構築する
- ◆【深い学びの視点】
⇒ 生活につなげて考
える